



発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

平成31年三吉梵天祭

宮司 田村 泰教

押し寄せてきては引き返し、引いてはまた押し寄せる「波」。新型コロナウイルス感染の波はとうとう第八波を迎えた。▽当地では冬季に入って感染者数が最高を更新している。寒冷地は室内の換気が難しく、今までの罹患者が少ないこともあって、北海道・東北で高い数値が目立っている。まさに風から時化に変わった状態だ。▽「面倒くさいから、いっそ流れに身を任せてしまおう」ともいかなのが疫病流行の波。これほどやっかいなものもない。▽とは言え、感染者数の浮き沈みに一喜一憂して怯えている時期は過ぎ、出張や観光による人流も回復している。ゆつくりと、しかし着実にコロナとの共生を図る暮らしが始まっている。▽「今日はめでたい三吉のまつりジョヤサ〜ジョヤサ〜の人の波」「三吉節」▽来月、当社では3年振りに拝観者を迎えて、特殊神事【三吉梵天祭】を行う予定だ。コロナ禍以前と同様とはいかないが、平和で穏やかな一年となるように、真摯な祈りを捧げるお祭が無事行われることを、心から願っている。

大神様の御守護のもと、来る令和五年のご健勝ご多幸を切にお祈り申し上げます。

言挙げ 80

ふるさとの唄

権欄宜 和田 恵梨子

民謡
が盛んな秋田では数多くの

特色ある民謡があります。ド
ンパン節や秋田音頭、秋田お
ばこ、秋田長持唄など、県外
の方でも一度は耳にしたこと
があるという方もいらっしゃる
のではないのでしょうか。ま
た民謡で忘れてはいけないの
は、当社の梵天祭に謡われ、
古くから当社に伝わる秋田民
謡「三吉節」です。コロナ禍
になる前までは三吉節は梵天
祭だけではなく、当社の大祭
や開山祭、閉山祭など様々な
場面で唄われており、とても

身近な民謡です。

さらに秋田では、民謡の他
に地元秋田県民に広く知れ
渡っている有名な郷土の歌と
して、秋田県民歌があります。
県民歌は学生時代に習い、歌
う機会が多いため県民の方々
に親しまれているようです。
時折コンサート会場ではプロ
グラムの中で秋田県民歌が組
み込まれている事があり、そ
の際には会場内が大合唱にな
ります。世代を超えて歌える郷
土の歌を聴いて、地元の方々
の郷土愛を垣間見ることがで
きました。

そんな折、ふと感じたのは
私の出身県である神奈川県
のふるさとの唄についてです。

まずは一度も聴いたことがな
い県民歌について調べまし
た。神奈川県民歌の存在は判
明しましたが、学校等で習う
機会が無かったため愛着はあ
りません。次に思い浮かべた
のは川崎市民歌です。こちら
は小学生の頃に学校で習った
記憶がありますが、この曲は
ゴミ収集の際に流れていたた
め、市民の間では市民歌とい
うよりゴミ収集の歌という印
象が強く残っていました。

もともと地元民に愛されてい
る「ふるさとの唄」が無いも
のか、と再考したところ、あ
る一曲を思い出しました。毎
年地元の小学校や公園などで
行われる盆踊り大会では必ず
流れていた軽快な曲、都はる
みさんの「川崎踊り」です。
この曲は川崎市の政令指定都
市移行を記念して昭和四十九
年に制作されました。レコー
ドは非売品のため、多くの方
の認知度が非常に低いことが

残念です。幸いにも現在では
インターネット上の動画サイ
トで手軽に視聴できるため、
ぜひ皆さんも試しに一度聴い
てみてください。軽快な音楽
に合わせて川崎市内の名所が
さりげなく歌詞に織り込まれ
ており、この一曲で川崎の見
所が網羅されています。都は
るみさんの陽気な声を聞いて
いると、どんなに落ち込んだ
日でも心はウッキウキ、キ
ラッキラになること間違いな
しです。これが私のふるさと
の唄です。



みよしスケッチ



古くなった印鑑や表札を供養し、印章塚にお納めしました。

印章供養祭 十月一日



閉山祭 (九月十七日)



協力会境内整備作業 十月八日



愛着のある人形に感謝を捧げ、お焚き上げ神事を行いました。

人形感謝祭 十月一日



秋季例大祭 十月十六日・十七日



村祭天奉納打合せ 十一月四日



神宮大麻頒布始奉告祭 十二月一日
春祈祷打合せ

令和五年の三吉梵天祭の
打合せを行いました。

三吉梵天祭打合せ会 十一月十日



神社協力会打合せ 十一月十一日



自衛警備隊総会 十一月十九日



神符守札遷霊清祓式 十一月十七日



秋田大学教育文化学部
附属中学校職場体験 十二月六日・八日



奉納者ご芳名

一、境内社賽銭箱

北上石灰株式会社
代表取締役 多田祥茂 殿



一、御手洗神社並びに里宮

手水用柄杓

匿名様



厄年・年祝いのご案内

厄年のお祓いや還暦・古稀などの年祝いを迎えられた方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

令和5年 癸卯（みづのとう） 厄年・年祝い一覧

	干支	男性	女性	年齢(かぞえ)
大正14年生	丑(うし)	白 寿(はくじゅ)		99歳
昭和9年生	戌(いぬ)	卒 寿(そつじゅ)		90歳
昭和11年生	子(ねずみ)	米 寿(べいじゅ)		88歳
昭和19年生	申(さる)	傘 寿(さんじゅ)		80歳
昭和22年生	亥(いのしし)	喜 寿(きじゅ)		77歳
昭和29年生	午(うま)	古 稀(こ き)		70歳
昭和37年生	寅(とら)	後 厄		62歳
昭和38年生	卯(うさぎ)	還 暦(かんれき 大厄)		61歳
昭和39年生	辰(たつ)	前 厄		60歳
昭和56年生	酉(とり)	後 厄		43歳
昭和57年生	戌(いぬ)	大 厄	厄	42歳
昭和58年生	亥(いのしし)	前 厄		41歳
昭和61年生	寅(とら)		後 厄	38歳
昭和62年生	卯(うさぎ)	厄	大 厄	37歳
昭和63年生	辰(たつ)		前 厄	36歳
平成2年生	午(うま)		後 厄	34歳
平成3年生	未(ひつじ)	厄	大 厄	33歳
平成4年生	申(さる)		前 厄	32歳
平成10年生	寅(とら)	後 厄		26歳
平成11年生	卯(うさぎ)	大 厄	厄	25歳
平成12年生	辰(たつ)	前 厄		24歳
平成16年生	申(さる)		後 厄	20歳
平成17年生	酉(とり)	厄	大 厄	19歳 (満18歳)
		成 人		
平成18年生	戌(いぬ)		前 厄	18歳
平成23年生	卯(うさぎ)	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず
新年を迎えると一つ年をとります。



どんと祭

1月29日
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、或いは古い神札・お守りなどをお焚き上げいたします。当日ご都合のつかない方は、事前に古神札納所にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物・写真など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

○人形類は 10月1日の人形感謝祭にお持ち下さい。

○環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

令和 5 年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(日)	午前零時	歳旦祭	新年の始まりに国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(火)	神事 午前6時	梵天祭	1年の無病息災と安泰を祈り、梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事 <u>※3年振りに拝観者を迎えて開催の予定です(8頁参照)</u>
	奉納 午前10時半~正午		
1月29日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札やお守、お正月の縁起物などをお焚上げいたします(5頁参照)
2月3日(金)	午前10時	節分祭	季節の変わり目にあたり、身体健やかに、心穏やかに、過ごせますよう福豆をまき供えて除災招福を祈ります
2月11日(土)	午前9時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、国の弥栄と世界の平和を祈念いたします
5月7日(日)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡を始め家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(月)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月30日(金)	午後3時	夏越の大祓	一年の上半期締めくくりに、身に積もった罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを祓い清め、心清々しく令和五年を迎え、穏やかな一年になることを祈ります。
ご多用とは存じますが、是非ご参列下さいますようお願い申し上げます。

記

日時 十二月三十一日(土) 午後二時
於 神社拝殿

○ご都合のつかない方は、

形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。



※形代(かたしろ)は神社にごぎいますので、必要な数をご連絡下さい。

年末年始のお参りについて

新型コロナウイルスの感染は第八波を迎えております。年末年始の予測はつきませんが、引続き下記の通り対策を実施して、皆さまに安心安全にお参り頂けるよう努めて参ります。

何卒、ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

《感染対策など》

- ・密を避けるため、初詣の経路を変更する場合がございます。迂回へのご協力をお願いいたします
 - ・必ずマスク着用の上、お参り下さい。神社にお入りになる方は手指消毒と検温のご協力を願います。
 - ・鈴は当面の間、使用できません。また厳冬期、手水舎を閉鎖いたします。
 - ・御朱印は印刷での対応となります〔カラー紙御朱印及び正月限定クリア御朱印〕（何れも図柄入り）
 - ・神社内各所に、空間除菌機器と加湿器を設置しております。
 - ・祈祷の際は、係の誘導に従い適度な距離を空けてお座り頂きます。
- また、密を避けるため、祈祷の際は、玉串拝礼後に順次ご退出頂く場合がございます。

●お守り・お札の授与所について

- ・新年のお札・お守り・縁起物は、既に授与を開始しております。
- ・2月までの週末と祝日、また12月24日～1月10日の間は臨時授与所を開設いたします
- ・三が日は、正面階段下と東側武道場にも授与所を設けますので、空いている所をご利用下さい。
- ・ビニールの仕切りを設け、奉仕員はマスク着用の上、応対いたします。

●ご家族などでのご祈祷について

- ・仕事始めの期間（1月4日～6日）は極力お避け下さい。
- ・持病をお持ちの方やご遠方にお住まい等の理由でご参拝が叶わない方は、各種通信祈祷をご利用頂くことが可能です。

●企業・団体様のご祈祷について

- ・仕事始めの（1月4日～6日、10日）の期間は、各団体5名様までの参列とさせていただきます。（その他の日のご参拝については、お問合せ下さい）
- ・団体毎にご着席頂きます。

《ホームページからの祈祷・授与品のお申込み》

諸事情によりご参拝が叶わない皆さまの篤いご崇敬の念に應えるため、下記の通りHPからの各種お申込みも承っておりますので、お気軽にご利用下さいませ。

※詳しくは神社ホームページ（<http://miyoshi.or.jp>）もしくは下記QRコードからご覧下さい。



◀HPからの
お申込み

秋田市赤沼

人に押し負け大きらい

三吉 梵天祭

ぼんでん

令和5年
1月17日(火曜)

◎神 事：午前6時～
◎奉納時間：午前10時半～正午

厳寒の二月雪国の静寂を打破する
藤田開治「秋田の行事」にも描かれた
秋田の冬の風物詩「ぼんでん」が行われる
力の神・勝負の神を祀る太平山三吉神社の
例祭に奉納される梵天は、数十年前の男たちを従え、
意匠をこらした梵天は、数十人の男たちを従え、
雪の町を練った後、神社に集結する。
「人に押し負け大きらい」と三吉即ち高かた、
法螺貝と「ジョヤサ」の掛け声が
勇ましく轟くなか、万を繰り廻す。
十数人の梵天が踊り乱れ、
男たちは波となって激しくもめ合う。
一年の辛を聞く熱い祭は、今年も「足早の舞」を待つ。

1月17日拝観のお子様に三吉霊神様のお力が宿る梵天三角守りを差上げます

※社会情勢により、開催形式が変更となる場合がございます。何卒ご了承ください

子ども梵天 1月14日⑤
8:00～9:30



太平山三吉神社総本宮

秋田県秋田市広面字赤沼3-2 ☎018-834-3443 <http://www.miyoshi.or.jp>

